

コード	204010110
記入日	H25.6.5

課コード	114
課名	水道課
課長名	築地 政次
担当者	徳永 慶彦

# 事業評価表【事後評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	上五島南部地区統合簡易水道整備事業
----------	-------------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 24 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	1
施策コード	204	施策名称	暮らしを支える水道の整備	項コード	3
基本事業コード	20401	基本事業名称	安全で良質な水の安定供給の推進	目コード	1
事務事業コード	2040101	事務事業名称	簡易水道特別会計事業費	細目コード	特別会計
関連計画	法令・条例規則等				

## 計画 ( PLAN )

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標						
(対象1) 水道使用者〔上五島南部及び青木焼崎地区〕	(対象指標1) 1,303人						
(対象2)	(対象指標2)						
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）						
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
・全体計画 →青木送水ポンプ設備 1.0式 →青木送水管布設工 L=1,327m →青木中継槽築造工 1.0式 →浜ノ浦配水池付属配管替工 1.0式 →青木配水池付属配管替工 1.0式 →配水管布設替工 L=3,473.9m →電気計装設備工 1.0式	・平成24年度実績 →配水管布設替工 φ25~100、 L=3,202.4m →電気計装設備工 1.0式	① 事業進捗率	100%	100%	実績工事進捗率÷	平成24年度	
		① 事業進捗率	51.6%	100%	計画工事進捗率	平成24年度	
		(達成率分析)	猪ノ浦地区の漏水修理を事業前に行ったため、管路延長を271.5m減少できた。				
		②					
		(達成率分析)					
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）						
・上五島南部地区簡易水道に青木焼崎地区簡易水道を統合し、老朽化した施設の統廃合を行い大幅な経費の節減と維持管理の軽減を図る。また水質対策及び電気設備を含む老朽設備及び老朽管を更新し有収率の向上と更なる安定供給を図る。			(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
			① 有収率	85.2%	94.7%	有収率実績÷	平成24年度
			① 有収率	85.2%	94.7%	目標有収率	平成24年度
			(達成率分析)	配水管を布設替により安定した水の供給が図られた。			
		②					
		(達成率分析)	老朽化した施設等の更新により、有収率の向上と更なる水の安定供給を図ることができる。				

## 実施 ( DO )

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 21 ~ H 24		23年度以前	24年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① %	100	100	48.4	52.6	51.6
	②					
成果指標	① %	90.0	85.21	83.65	90.0	85.21
	②					
総事業費 C (A+B)	千円	357,624	349,215	172,583	185,041	176,632
直接事業費 A	千円	343,624	335,215	162,083	181,541	173,132
人件費 B	千円	14,000	14,000	10,500	3,500	3,500
内訳	従事職員数	人	2.0	2.0	1.5	0.5
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
	国補助金	千円	153,200	153,200	68,900	84,300
	県補助金	千円				
	起債	千円	157,400	158,900	70,100	87,300
財源内訳	その他	千円				
	一般財源	千円	47,024	37,115	33,583	13,441

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理 由	水道水の安定供給は不変的なものであり、当然行うものである。
	有 効 性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理 由	老朽管の更新により、改良区間の有収率向上等が図られた。
	有 効 性	・より少ない費用や業務量で事業や活動が効率的に実施できましたか。	● はい いいえ	理 由	最小の経費で最大の効果が得られる設計を基に実施した。

**改善 ( ACTION )**

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点 (事業方法の検証・事業の成果等の検証を踏まえて、今後の関連事業等に対する改善点)	
	現場条件に合わせ、最小の経費となるような計画にすることに努める。	
1 次 評 価	○目的が達成されていない場合の課題と改善策 (目的が達成されていない場合、また、課題が継続している場合の改善策)	
	目的は達成された。	
2 次 評 価	簡易水道施設を統合し、老朽化した施設等の統廃合を行うことにより大幅な経費節減と維持管理の軽減を図ることができる。今後も効率的な施設整備、維持管理を行い、安全で良質な水の更なる安定供給に努めること。	

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。